

◆◆◆◆◆
仲田 豊 議員



◆◆◆◆◆
国の新型コロナウイルス
感染症に伴う支援策
について

質 国の支援策個人、世帯、事業主向けがあります。特別定額給付金の概要はどうなっているか伺います。

答 総務課長 山城雅人

特別定額給付金は国民1人当たり10万円を給付するもので、村の現時点の対象は、1万1千1百

35人で、金額にして11億1千3百50万円の事業となっており、第2回支払日の6月8日には、9千80人分で割合で81・6%となっております。申請窓口は総務、企画課を主体として隔日の2班体制で申請受付や支払業務を実施しています。

質 給付基準が令和2年4月27日である。基準から何カ月まで支給されるか。
答 総務課長 山城雅人

村の受付が5月18日から始まりました。国の指針は受付から3カ月後までということですので、8月17日を期限としている。

質 緊急小口融資、総合支援金の2つを伺う。
答 福祉課長 長浜保治

いずれも村社会福祉協議会が窓口となっており、振込作業は沖縄県社会福祉協議会となっております。

質 社協に行って調べたが、隣の宜野座村、金武町を比べると、恩納村は小口金融貸付けがすごく多い。宜野座村66件、金武町64件、我が村は158件で恩納村の住民が生活している上で困っている

ることが言える。ホテル、飲食店、休業してにつきもさつちもいかないことで小口金融から借り、それで生活をつないでいる。村長、この数字をどう思いますか。
答 村長 長浜善巳

本場に村内も大変厳しい生活を強いられる方がかなりいることを承知しています。現在村では、経済が大変停滞しており、特にホテル、漁業、農業のほうですが、今後経済対策、生活がもとのとおり戻るような形にし、生活の安定支援をしていかなければと考えております。

◆◆◆◆◆
村独自の支援策について

質 村独自で9事業あり、その事業について伺う。
答 総務課長 山城雅人

福祉課で放課後児童健全育成事業、保育料減免措置事業。農林水産課は、生産物奨励事業、水産物生産奨励事業。商工観光課で雇用調整助成金活用支援事業委託事業、村内事業所支援委託事業。学校教育課で村内在住高校生就学支援緊急助成金、学校

給食費一定期間免除事業。総務課で感染症等マスク、消毒液購入事業の9つの事業です。

質 新型コロナウイルス感染症に伴う高等学校などの臨時休校及び保護者の長期休業に5万円を与えるということで、長期休業をしていない方はどうなりますか。
答 学校教育課長 石川 司

この趣旨の目的の文言には長期休業と書かれていますが、今回は保護者全て対象に行った次第です。

質 国難と言われているコロナウイルスですね、我が村もこれに耐えました。国からの給付金もあつたけど、それなりの使い方もあると思います。村長の英断と政治決断で、苦しんでいる村民に2万円給付したらどうかと強く望むのですが、どうですか。
答 村長 長浜善巳

国、県が進めている支援事業に、さらに支援が行き届かない部分も施策を展開し、村内の経済回復が大変重要なことで、その中で村民に支援できる方法を考えております。

◆◆◆◆◆
宮崎 豊 議員



◆◆◆◆◆
新型コロナ対応の実績
と計画について

質 3月定例会でも新型コロナについて質問しましたが、その後多くの事業が実施または計画されており。今回予算計上されております。海岸海域環境保全事業3千6百万円についての説明をお願いします。

答 農林水産課長 宮平 寛

低迷する観光業に関係いたします。漁業者、または事業者、特にダイビング関係、そういった方々の雇用創出を重点的に考えた事業内容となっております。サンゴの植付け、オニヒトデ駆除、海中清掃というところに重きを置いている。

質 商工会において事業者支援給付金の相談が実施され、大勢の経営者が窓口を訪れております。土日も職員は出勤して対応をしていたようでした。村内事業者からは「大変よかった」との声も聞かれます。国の支給判断が変わったりで、何度も相談に訪れる事業者も多く、予算の不足が懸念されておりますが、追加の予算措置は可能か。
答 商工観光課長 山田俊幸

雇用調整助成金の申請に係る支援として、65事業所になる見込みとなっております。今、概算でその予算請求されたものについては対応しております。今後も、出るようであれば検討していきたい。



質 学童施設補助や保育料減免措置等の支援は既に実施されましてけれども、特に独り親世帯への支援などが必要かなというふうに感じるところです。この辺の対応はできないか。
答 福祉課長 長浜保治

村立保育所及び認可保育園等につきまして、約半年間、保育料の無償ということ予算を計上しています。独り親世帯への支援ですが、今後、検討をさせていただきますと思います。

質 新聞にホテル売却の文字がありました。まだまだ先が見通せない状況で、村内のホテルがこれからどうなっていくのか大変心配するところであり。水道料金の減免措置半年間免除は今

回提案されていますけれども、まだホテル対策があるのではないかと感じています。第2、第3弾の支援をしていくというふうな話もありましたけれども、ホテル運営は村の運営にも大きなウエイトを占めていると思います。今後の展望を村長に伺います。
答 村長 長浜善巳

コロナウイルスの感染症の被害は、元の経済状態に戻るまでには大変長い時間を要するだろうと予想されます。第2波、第3波への予防対策も一緒になって考えていかなければならない。それと同時に経済の回復をしなければいけないところ。国のほうでもGOTOキャンペーンということで、観光のほうを特に盛り上げていくということをやっているわけですが、恩納村としても観光リゾート産業がリーディング産業でございますので、これまで施策、また支援できなかった部分をまた次の補正予算を組んで皆様方にお諮りしたい。本当に観光の皆さん、大変厳しい経営を強いられております。そういった部分、私どもも積極的に支援してまいりたいと思っております。